

6月1日は人権擁護委員の日です。人権擁護委員は、法務大臣から委嘱され、人権相談を受けたり、人権啓発活動を行っている民間の方々です。私も人権啓発団体も含め、その必要がなく、みんなが人を思いやり、争いやハラスメントがない社会が理想です。国際社会においては人権無視の戦争が続いています。だからこそ、私たち一人ひとりが人権意識をしっかりと持つべきだと思います。



## 近い将来必ず起きる大地震への備えを！

政府の中央防災会議は、「南海トラフ巨大地震」が発生した際の被害想定を今年3月に公表しました。(※1)南海トラフ地震は、日本列島の太平洋側(東海・東南海・南海の各地域)沿いで近い将来必ず起きると言われる“海溝型(プレート境界型)”の大地震です。

この地震は、過去に約100年～150年の周期で繰り返し発生しています。山梨県では、前回の安政東海地震(1854年：東海地域で起きた南海トラフ地震)で大揺れとなり、各地で家屋の倒壊や山崩れ、液状化などが発生しました。それから既に170年余が経過し、大地震を起こすエネルギーが限界レベルまで蓄積しています。今後30年以内に起きる発生確率は約80%とされていますが、今すぐに起きてもおかしくありません。

山梨県が発表した県内の被害想定では、建物被害(全壊・全焼)6万棟余、人的被害(死者)3千人余、避難者・14万人余、水道断水人口・39万人余、停電人口・62万人余、などと、甚大な被害が起きる可能性が指摘されています。(※2)ただ、この建物被害や人的被害の想定は、古い建物の耐震改修などの地震対策を一切行わない場合の推測です。私たち山梨県民としては、次のような対策にしっかり取り組むことが大切だと思います。

### ①古い木造住居に住んでいる方は、先ず“耐震診断”を！

特に昭和56年5月以前に着工した住宅は、昔の緩い耐震基準で建てられている建物が多く、大地震で倒壊や全壊する可能性が少なくありません。お住いの市町村(建築住宅担当課)に申し込めば、“無料”で専門家を派遣し耐震診断をしてもらえます。「耐震性が低い」と診断されれば、住宅を耐震改修したり居間や寝室などに耐震シェルターを設置する場合に補助金が交付される制度も利用できます。(※3)

### ②家具の地震対策をしましょう！

家具が倒れて下敷きになるのを防ぐため、大きな家具は固定しましょう。

### ③必要な物資を備蓄しましょう！

南海トラフ地震などの大地震が起きると、広い範囲で交通が途絶し、電気や水道なども相当な期間使えなくなります。非常用の食料や水は、できれば1週間分以上の備蓄が望まれます。ふだん食べていて保存の効く食品を余分に購入して使い回す“ローリングストック”方式がお勧めです。(※4)

### ④防災訓練や防災セミナーへのご参加を！

地域の防災訓練に参加することで、住民同士で助け合う“共助”のきっかけとなります。山梨県立防災安全センター(中央市今福991)で、様々な防災セミナーを行っています。ご希望の方は、事前に電話(Tel.055-273-1048)で相談し予約することを勧めます。



(※1)NHKニュースWE B「南海トラフ巨大地震『新被害想定』公表 私たちのまちは」



(※2)山梨県リーフレット「地震被害想定調査の結果をお知らせします」



(※3)山梨県・耐震ポータルサイト



(※4)政府広報オンライン「今日からできる食品備蓄。ローリングストックの始め方」

**今後の予定** 人権移動教室 6月3日(火)甲府市立東小学校、6月18日(水)甲府市立中道南小学校において、人権移動教室を開催します。

人権移動教室の授業を受けた子供たちの感想文が、裏面にご覧いただけます。



国連 NGO 横浜国際人権センター山梨ランチ  
特定非営利活動法人横浜国際人権センター山梨

会長：横山隆史  
理事長：横山美香

〒400-0031 山梨県甲府市上町 601-4 甲府市環境センター内 なでしこ工房 1 階事務室  
TEL. 055-243-8563 FAX. 055-243-8564 <http://yamanashi.yihrc.or.jp/> E-mail. [yamanashi@yihrc.or.jp](mailto:yamanashi@yihrc.or.jp)

<協賛>  
山梨県  
甲府市  
甲斐市

人権移動教室に参加した子どもたちの感想文をご紹介します。

甲府市立池田小学校六年生女子

人権教育を終えての感想

池田小 六年

私は、人権教育を終えて知ったことや思  
たこと、感じたことがたくさんあります。

「人権」についてあまり知らなかつたしあ  
まり考えたこともありませんでした。ですが

「人権」とは、命と幸せを守るための権利と  
いうことを聞き、よく考えてみるとたしかに

そうだなと思いました。MSFという団体が  
あることを私は初めて知りました。このMS

Fは世界に最も必要な大切な団体だと思いま  
した。また、人々の命と幸せを守るまさに「

人権団体」だと思いました。そして、私が一  
番心に残ったのは杉藤さんが体験したという

実際のお話です。「そんなに優しい人がたく  
さんいたんだな」とびっくりし、少し感動し

ました。  
優しさが形になってあふれ出している人

そんな人たちがたくさんいる世の中になつて  
いつてほしいと私は思いました。

甲府市立池田小学校六年生女子

人権の意味とは……

池田小学校六年

「人権とはなんだろう？」と思つたのは、  
社会科の授業をうけているときのことでした。

たくさん考えれば考えるほど意味はでてくる  
のですか、どれもしつくりくる答えは見から

ず、この人権教育教室の日かやつてきました。  
人権教育教室では、たくさんこのことを学ぶ

ことができました。まず、人権というのは「  
生きていくまで一分、一秒忘れてはいけな

命と幸せを守るためにあるのだから」という  
ことを教えてもらい、人権の大切さを学びま

した。他にも、おとしよりの方や体の弱い方  
の立場に立ち、優しい心を持つてる人や苦し

んでいる人を助けたり自分自身がいやなこと  
でも進んでボランティアに取り組んで、私た

ちのことを裏で支えている人がいるというこ  
とも学びました。

これから、今回の人権教育教室で教わつた  
ことをいかして、生きていきたいです。